

# AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学学術情報センターだより 第34号

## 情報、そして書物

益岡 隆志

先日、英国王室の結婚式の報道を見ていたときのことで。結婚式の様子そのものは実はあまり記憶に残っていないのですが、1つ私の関心を惹いたのは、英国王室も Facebook や Twitter などでも情報を発信しているという報道でした。現代の情報社会の動向を実感させる報道として強く印象づけられたものです。

情報は、言うまでもなく、速やかに伝えられるという速報性、誰でも容易に入手できるというアクセシビリティが重要です。それに、より新しいものに置き換えられるという更新性も加わるでしょう。近年、インターネットという情報技術の進歩により、速報性・アクセシビリティ・更新性に優れた情報伝達の方式が急速に進んでいることは周知のとおりです（私自身も日々の生活のなかでインターネットで情報を得ることは少なくありません）。もっとも、しばしば指摘されるように、インターネット上で伝えられる情報は玉石混淆で、信頼性の面で万全ではありません。インターネットを通じて届けられる膨大な量の情報のなかから信頼できる有用な情報をどのように選び取ることができるかが問われる時代になったのです。

情報の問題に触れるとき、それとのかかわりで忘れてはいけないものに書物があります。書物というものは、ある意味では、うでで述べた意味の情報とは対照的な性格を備えています。もちろん、書物にもいろいろあって、一概には言えないわけですが、ここでは情報と対比する形で書物のことを少しばかり考えてみたいと思います。

優れた書物というのは、読み返すたびに新たな発見をもたらします。再読に耐える書物は、大勢の人に読み継がれ、時間を超えて生き続けます。時間を超えて読み継がれてきたものは、私たちが生きていくうえで血肉となるものと言えるでしょう。私自身もそのような優れた書物と出会い、それらの書物を本棚の特別な場所に収めて幾度となく読みなおすという幸運に恵ま

れています（皆さんの本棚にはどんな書物が置かれているのでしょうか）。情報がフローなら書物はストックということになるかと思いますが、友人と何度も親しく話をするように、親しい書物は何度も読み返し、長く付き合うことになるでしょう。

かけがえない人との巡り合いがその人の人生を決定するように、かけがえない書物と出会えるかどうかはその人の人生を大きく左右するように思います。「交友録」と名づけられた書物を何冊か横に置いて今この文章を書いているのですが、交友録と併せて「交書録」（この文章で勝手に作った造語です）が書けるなら、この上ない人生ではないでしょうか。そして、忘れていけないのは、私たちが読む書物の向こうにそれを書いた人がいるという事実です。素晴らしいと思える書物に出会ったら、それを書いた人に対しても敬意の気持ちを持ちたいものです。書き手に対する私たちの敬意の気持ちがあってはじめて、書物の文化が維持されると思うのです。

最後に私が見る夢を1つ。それは、「交書録」を書いている自分の姿です。その「交書録」のなかの言葉—「この書物たちと出会えて私の人生はこんなにも豊かなものになった！」。

ますおか たかし（本学教授・学術情報センター長）



**-- 外大図書館に置いてある本や雑誌は、どのような基準で選んでいるのでしょうか？**

一言で言いますと「資料選定」の基準ということですが、次の3つが挙げられます。

- A. 外大の教育理念「行動する国際人の育成」
- B. 各学科と各コースの、方針・カリキュラム
- C. 講義内容＝シラバス

まず、「行動する国際人の育成」は外大の根幹となる理念ですので、図書館の資料選定においても念頭におかれます。次に、外大には5学科4コースがありますので、各学科各コースそれぞれの学生さんと、例えば英米学科の法経商コースといった全ての組合せの学生さんとを想定し、それぞれの方針・カリキュラムに沿って、その学科コースで学習や研究をされる学生さんにとって、その資料が有益たりえるかどうかを「資料選定」の基準としています。

講義1コマ1コマも、シラバスを基準に想定し、その受講生の方に有益かを考えます。また、例えばレポートの書き方といった、学科コースを問わない全ての学生さんを対象とした資料も、外大生の方全体を想定し、同様に考えます。

**-- 他には、何か「資料選定」の基準になるものはありますか？**

卒業論文・修士論文・博士論文のテーマや分野、カウンターで受けた質問なども、学生さんの関心志向の端的な現れですので、図書館での資料選定の基準の1つと言えます。

**-- では、具体的には、どのような方法や手順で選んでいるのでしょうか？**

それでは一例として、図書(本)を選ぶ際の手順と考え方をお話しします。

本を選ぶ際、まずは、出版案内やサイトなどに掲載されている新刊情報を見ます。

次に、これらの新刊リストの著者・タイトル・シリ

ーズ名・出版社を見て、検討候補を見つけていきます。例えば「著者：米原万里」とあればロシア語通訳の大家ですので、主にロシア学科や国際コミュニケーションコースの学生さん向けとして有益な本の可能性があると考えて、ブックマークをつける等して控えておきます。資料選定の基準にそぐわないと判断した本は、どんどん飛ばしていきます。

次に、控えておいた本1冊ずつの内容を見ていきます。著者名・ISBN・タイトル等で、出版情報のサイトや研究者DB、論文検索DBなどを検索し、その本の目次と概要、著者の専攻分野などを調べ、その本のテーマや主旨を把握します。

そして、前述の基準A～Cに沿って、想定する学科コースの学生さんにとってその本が有益かどうかを検討し、良しと判断した本を発注候補リストに挙げます。最後に、半月ごとに司書職員全員分を1つにまとめて、事務手続きの上で、書店に注文します。

本の選び方の流れをまとめると、次のようになります。

※図書館での本の選び方の流れ

1. 各種の新刊リストを見る。
2. 検討候補の本をピックアップする。
3. ピックアップした本のテーマ主旨を把握する。
4. 資料選定の基準に沿って学生さんに有益か判断する。
5. 発注候補リストに挙げる。

**-- 選んだ本などや資料選定の基準は、どのように自己評価や点検をしていますか？**

ここでも図書資料(本)を例に取りますが、いわゆるPDCAを行います。PDの部分は前述の通りです。

本の場合、分野ごとの貸出回数合計と館内での利用状況から傾向を計り、定期的な点検、自己評価と改善を繰り返しています。

例えば、ある分野の本の貸出回数合計が一定数以上であつたり増加傾向であれば、学生さんに有益と判断している方向性が今のところ適切と考えられます。逆に、同分野の貸出回数合計が多いのに所蔵冊数が少な

いなら、資料選定に不足があると考えられますので、補充を図ります。

館内での利用状況は、どの分野の本がよく書架から出ているかやカウンターでの質問等を考慮しますが、貸出回数のような数値化はできませんので、日頃から真摯に学生さんへの関心を持ち、職員相互に情報交換や意見交換を日々行うことで、学生さんの関心志向の把握に努め、同様に自己評価と改善に取り組んでいます。

#### -- それでも、読みたい本や資料が外大図書館に無いことがありますか？

網羅的に目をやるようにはしていますが、どうしても漏れが出る場合があります。その補完策として、購入希望やILL(他大学図書館などからの資料の取寄)といった、別のサービスを設けています。購入希望は、見たいけど外大図書館に無いという本・視聴覚資料が

あれば、資料選定の基準に沿って判断の上、できるだけ置けようにしますので、カウンターでお申し込みください。入手できない資料でも、他大学図書館や神戸市立図書館が所蔵している本を取り寄せて借りるといったことが可能ですので、同じくカウンターでご相談の上、ILLをお申し込みください。

#### -- 最後に、外大生の皆さんにひとことどうぞ。

「行動する国際人の育成」は、皆さんから見ればご自身の「成長」になると思います。

外大生の皆さんが在学中に成長される上でのサポート役が少しでも果たせていれば、外大職員としても図書館員としても、とても嬉しく思います。

卒業後に少しでも高く遠くへ羽ばたいていけるよう、在学中に目一杯、自分で自分を育てていってください。

(かきもと まさあき 図書館職員)

## 和雑誌が利用しやすくなりました

### (1) バックナンバーの貸出開始

語学学習に利用できる雑誌のバックナンバーが借りられるようになりました(2011年発行分より)。付属CDも借りられます。カウンター付近に専用コーナーを用意したのでご利用ください。貸出中の場合は予約ができます。

#### 【バックナンバーが借りられる雑誌】

『CNN English express』

『English journal』

『中国語ジャーナル』

『聴く中国語』

『英語教本』(2011年4月号より購読開始)

※最新号は館内利用のみです。

### (2) 並び順の変更

閲覧室の和雑誌の並び順が五十音順になり、探しやすくなりました。一部の雑誌は最新号の表紙を展示しています。

### (3) 購読タイトルの見直し

国内雑誌の購読を見直し、7タイトルを新たに購入することにしました。

#### 【新しく購読する雑誌】

『DAYS JAPAN』

『Hir@gana Times』

『COURRIER JAPON』

『自治研究』

『アジア時報』

『フォーリン・アフェアーズ・レポート』

『組織科学』

利用しやすくなった雑誌コーナーにぜひ一度お立ち寄りください。

## 閲覧室にノートパソコンが 設置されました

2011年3月に第2閲覧室1階に、無線で学内LANにつながるノートパソコンが24台、プリンタが3台設置されました。利用資格や方法は、従来の図書館ロビーのパソコンと同様です。

図書館の閲覧室内に設置されたことで、図書や雑誌など紙の資料と、インターネットやデータベースなどの電子情報がシームレスに利用できるようになりました。

図書館が主催するゼミガイダンスでも利用しますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 図書館日誌 2010年11月～2011年6月

### 2010年

- 11.9-10 トライやるウィーク受入（4名）
- 11.30 ゼミガイダンス実施
- 12.1 展示「司書のおすすめD」第11回
- 12.15 センターだより第33号発行
- 12月の見学受入2回

### 2011年

- 1.17 ゼミガイダンス実施
- 1.27 学術認証フェデレーション説明会（於本学）
- 2.15 公立大学図書館協議会近畿地区協議会  
講演会・総会（於本学）
- 2月の見学受入 1回
- 3.28-31 蔵書点検実施

- 4.2 英語教育学オリエンテーション
- 4.5 学部オリエンテーション  
大学院オリエンテーション
- 4.6 研究生オリエンテーション
- 4.7 展示「司書のおすすめD」12回  
4月のゼミガイダンス 8回実施
- 5.31-6.1 トライやるウィーク受入（2名）  
5月のゼミガイダンス 11回実施
- 6.6 展示「司書のおすすめD」第13回  
6月のゼミガイダンス 4回実施

AD ALTIORA SEMPER 神戸市外国語大学学術情報センターだより 第34号 ISSN 0919-2336

「AD ALTIORA SEMPER」とはラテン語で「常により高きを求めて」という意味です

編集・発行：神戸市外国語大学学術情報センター

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1

TEL：078-794-8151 / FAX：078-797-2257

URL：<http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/>

2011年6月30日発行 発行責任者：センター長 益岡隆志